

CONTENTS

● 国内編 (豚)

長寿王国沖縄をきずいた いとしの豚とサツマイモ …………… 10

“かつ丼” の発明からイスラムまでの八十二年! …………… 12

不潔なのは豚か人間か はてさて現代イソップ …………… 14

● 国内編 (牛)

“物” はなぜ牛へんなのか 学者も? の牛の字まんだら …………… 16

岩手の山路に “南部牛追唄” が流れた日 …………… 18

かの “家康公” も登場するスキヤキ・ルーツ論の虚実 …………… 20

漱石が名作「三四郎」で披露した生肉鑑別法	………	22
絶唱二千回！ 蝶々夫人を支えた卵とビフテキ	………	24
ビフテキは二人前！ 天井に紫の花を見ながら死んだ男	………	26
牛肉の一片に宇宙を見た 不思議な不思議な物語	………	28
ローストビーフを活性化するカイワレ大根と青ジソの香辛	………	30
のろのろと真つすぐに行く牛に託す光太郎の熱い思い	………	32
牛を描いて六十有余年 奥村土牛の宇宙的画境	………	34
牛肉を食えずに若死にした 国木田独歩三十七歳の悲運	………	36
明治の牛屋の日本アマゾン 食の感動が生きていたころ	………	38
虎の巻とはシチューのこと 文明開化「肉料理大天狗」	………	40
うまいビフテキに通じるフランスパンの重層構造	………	42

● 海外編 (豚)

名家の紋章や名酒のラベルに残る遠きイノシシの栄光 44

“マザーグース”が歌う “この豚ちび助”の詩境 46

“ブレレンツェの豚さん”が語る名将シーザーの先見の明 48

ヴァイキングの勇気のコツは 死後の豚肉天国 50

“豚小屋条例”を発した中世ヨーロッパ都市の家畜飼養熱 52

クック船長も感動した ポリネシアの豚の歓待 54

“トロイの木馬”にはトロイの豚 料理にみる古代ローマの世界意識 56

名品バージニア・ハムの秘密は 豚にピーナツ 58

まぼろしのオスに迷うトリュフと豚と残酷と 60

● 海外編 (牛)

「スプーンで肉を」はブッフ・キュイエール 62

アコーデオンの音色が聞こえるメキシコ風干し肉の熱い郷愁	64
耐えた！闘牛士のモリ十六本　スペインは「猛牛のほまれ」	66
宰相の名は「牛買いの名人」というフランス流のユニーク	68
シューベルトの貧乏が生んだグーラシユ・シューベルト風	70
一枚の牛肉契約書をめぐる世にも不思議なほんとの話	72
わが家の料理女と結婚したロツシーニの「肉と野菜」	74
その数十六皿！　リシユリユーの「牛のみによる晚餐料理」	76
仔牛一頭を知らずに食べた　スイス料理の大いなる秘術	78
庖丁一本で牛をさばいた名人・庖丁の庖丁さばき	80
ヒチコックの名作「鳥」と牛肉一辺倒のスリラーもどき	82
ステーキにかけた男の夢　大恐慌と「黄金の世界」	84
牛肉パウダーは馬糞に通ず　西部開拓史いらいの禅問答	86
まずはロースト・ビーフから　いまも息づく英国の「肉歌」	88

● その他

ポ・ト・フは味の交響楽！ 作者も夢見るフランスの味	90
「棺桶」というパイもあった中世イギリス風	92
「男の料理」の原点——いまふたたびの「軍隊調理法」	94
極上にして最悪のタン料理 哲人イソップはしたたか者	96
野獣闘技に明け暮れた！ ローマの休日のおあ胃袋	98
ベーコンは発明しなかったが肉の保存法に挑戦した哲学者	100
清濁あわせ飲む？ ユゴーの肉と魚とミルクコーヒート	102
壮大な胃袋が生んだデュマの大長編と「料理大辞典」	104
フランス革命のナゾの部分 バステューユ牢獄の肉料理	106
家畜には捨てるものがない モンゴルの「獣糞利用術」	108
中世文化のために気を吐く肉の四段詰めの遙かな豪奢	110

イラスト ▼ 中村 知史